

季刊

唯物論研究協会編集

# 思想と現代

1987

10号

特集

●揺らぎのなかのメディア

——連帯と分断・管理の狭間で

《対談》メディアを哲学する

メディア・情報 稲葉二千男

情報化社会における コミュニケーション主体の変容

中井正一の「電送される言葉」

イギリスにおけるメディア論の展開

《もう一つの思想家像》

宮沢賢治と唯物論

尾関周二

伊藤守

浅野富美枝

佐藤毅

高田求

発売元

白石書店

大月書店 東京都文京区本郷2-11-9  
電話 03 (813)4651<代表>

ユニークなメディア論

# メディアの生態学

青木貞伸著

46判・1500円

情報化の波に乗って肥大化するマスメディア、その内部で、また相互間で、いま巨大な地殻変動がすすんでいる。「低俗番組」「有害図書」と、誰もがにわかに反対しえないような批判の裏に見え隠れする権力のヨロイ。耳ざわりのよいニューメディアの前に穿たれた電波支配の落とし穴。メディアはいま何をなすべきか？新たなコミュニケーションのあり方を探る内容。情報のエコシステム／メディアをめぐる環境／テレビの光と影／日常からのコミュニケーション

シリーズ マスメディアの実像と近未来を探る

## マスコミの明日を問う

研究集団「コミュニケーション90編

全4冊

めまぐるしく転変する情報新技術、再編の荒波にもまれるマスメディア。メディアの黒衣たちの舞台裏の苦悩を交えつつ、今日の現状に鋭いメスを入れる

1 放送／2 出版／3 新聞／4 変貌する  
マスメディア

A5判・各1700円

白石書店 東京都千代田区神田神保町1-28  
☎03(291)7601 振替東京2-16824

# 戦後思想の再検討

東京唯物論研究会編

民衆の側からの戦後思想を総括、再検討し、歴史的岐路に立つ現代日本の指針を探る。

## 人間と文化篇

定価二五〇〇円 丁250

思想の戦後史をどうとらえるか——高田求／論理学論争について——仲本章夫／戦後思想の人間論——吉田正岳／文化運動と高度経済成長——佐藤和夫／戦後思想の方法と文学——山根献

## 政治と社会篇

定価二四〇〇円 丁250

戦後四〇年の思想——芝田進午／大衆社会論争——後藤道夫／戦後民主主義の現在——吉崎祥司／「脱産業化社会」の夢と現実——石井伸男／批判的視角からみた技術の論理——鳥居廣

# 季刊 思想と現代

1987年 7月  
第10号

唯物論研究協会編集

発売元 白石書店

## 目次

### 特集 揺らぎのなかのメディア

——連帯と分断・管理の狭間で

- 〈対談〉メディアを哲学する……………稲葉三千男・矢澤修次郎 3  
メディア・情報・人間……………尾関 周二 21  
情報化社会におけるコミュニケーション主体の変容……………伊藤 守 39  
中井正一の「電送される言葉」……………浅野富美枝 58  
イギリスにおけるメディア論の展開……………佐藤 毅 72

### ニュー・カレント

- オーストラリアの实在論者たち……………武田 一博 92

### ぶっく・えんど

- 「コミュニケーション論」の現在……………庄司 信 88

### もう一つの思想家像

- 宮沢賢治と唯物論……………高田 求 118

### 書評

岩佐茂・尾関周二・島崎隆・高田純・種村完司著

- 『哲学のリアリティ カント・ヘーゲル・マルクス』……………神尾 孝 133

- 岩淵慶一著『初期マルクスの批判哲学』……………渡辺 憲正 134

- 「女性の時代」に問われているもの……………中野 麻美 106

こだま／編集後記

装幀 フレッシュ・アップ・スタジオ・渋谷泰彦